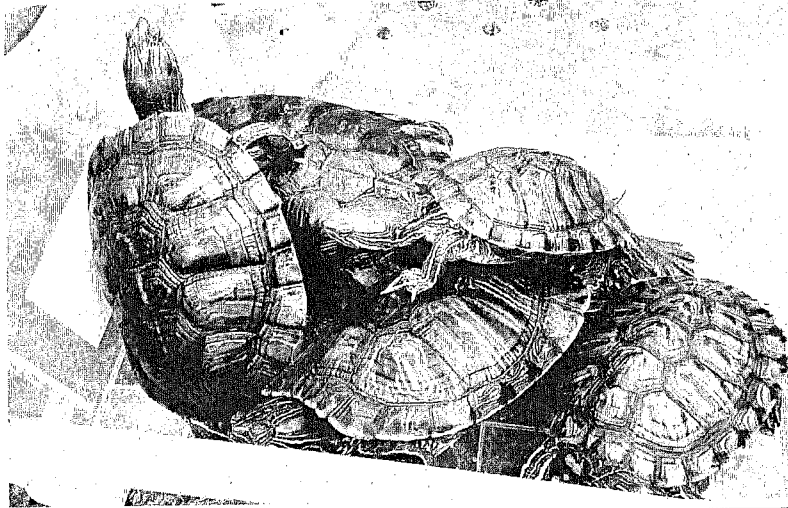


明石市 捕獲のミシシippアカミミガメ 一時保管プール新設へ

肥料化の研究も



明石市が引き取ったミシシippアカミミガメ

市提供

ため池や川で増えた外来種生物、ミシシippアカミミガメの対策に取り組み明石市は26日、防除調査などで捕獲したカメを一時保管するプールを9月中旬に、同市大久保町松陰の明石クリーンセンタ―内に設置すると発表した。収容したカメを肥料などで有効活用する研究も今年度内にスタートさせる。

同市はミシシippアカミミガメの生息・防除調査、市民からの引き取り、生態系を守る条例制定などに取り組み、2011年度から今年度までに約7000匹を捕獲。この結果、防除した谷八木川や瀬戸川では調査時に捕獲したカメの約6割をミシシippアカミミガメが占めていたのが、追跡調査では約2割に減少するなど、一定の効果が現れている。環境

省も今年7月、5年後をめどに輸入抑制などを実施する方針を発表。同市は先進自治体として対策を強化することにした。

一時保管プールは市ミドリガメ対策アドバイザーの亀崎直樹・前須磨海浜水族園長の助言を受けて設計し、縦5メートル、横9メートル、水深40センチ。約1000匹を収容する予定。収容したカメは肥料化やコ

ラーゲン活用に向けた研究にも使う。

このほか、啓発用のDVDを10月下旬に約200枚製作し、小学校などに配布。ため池関係者対象の防除講習会を今月28日から開催する。

【駒崎秀樹】